

TREND ROAD Designer

バージョンアップガイド

2025 → 2026

目次

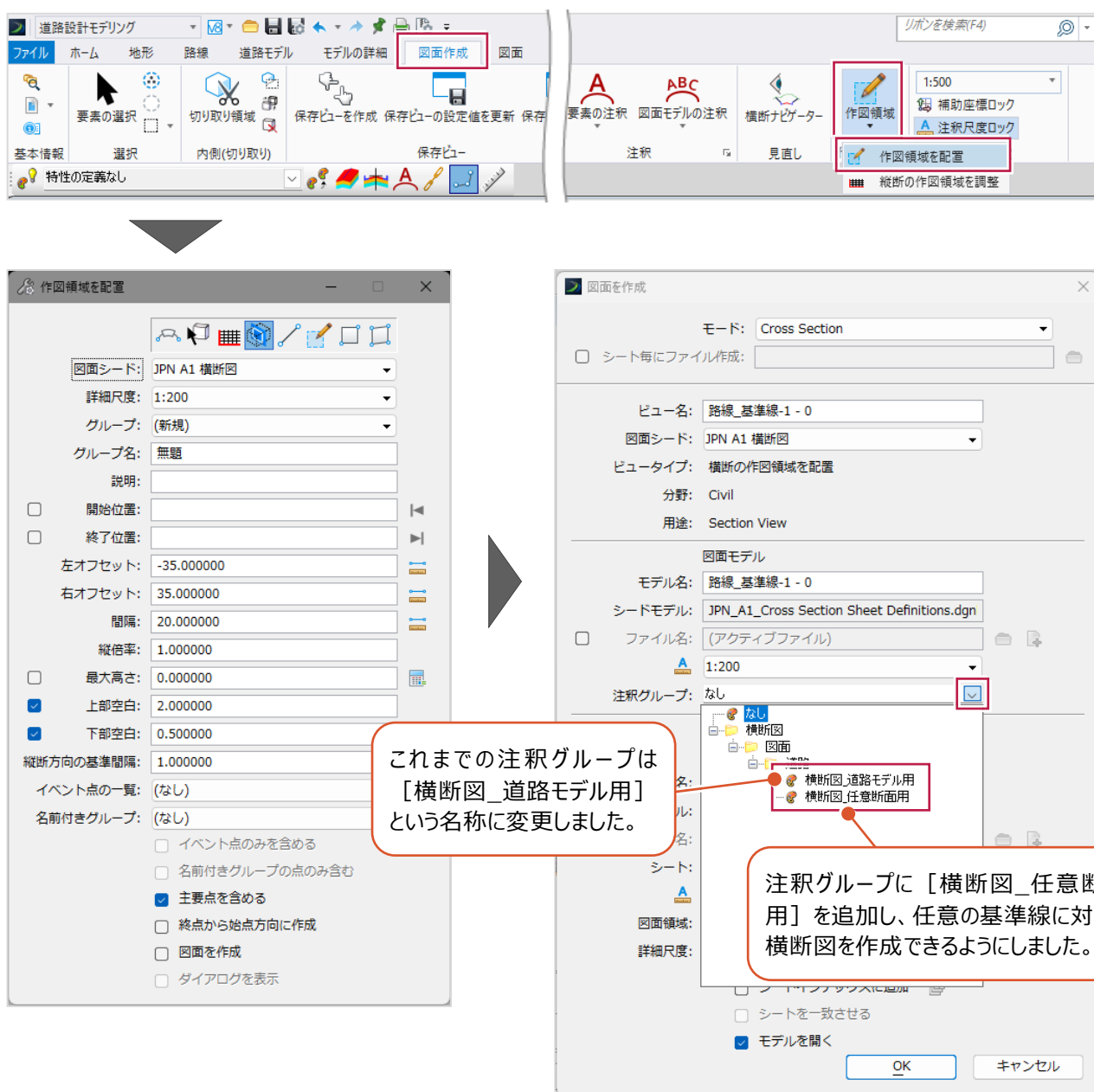
1 機能追加	1
1-1 横断図作成の注釈に造成モデルの注釈グループを追加	1
1-2 横断現況の抽出幅の調整	2
1-3 寸法スタイルの日本語化	2
1-4 サーフェステンプレートの追加・修正	3
1-5 特性定義 [床掘] [埋戻] の材質とレイヤ色の変更	4

1 機能追加

1-1 横断面図作成の注釈に造成モデルの注釈グループを追加

これまで、[道路設計モデリング] の [図面作成] タブ - [作図領域] グループ - [作図領域] - [作図領域を配置] で作成する横断面図では、道路モデル用の注釈グループのみ利用可能でした。

本機能に、造成モデルでも利用できる注釈グループを追加しました。



また、これに伴い以下2点の対応を行いました。

- ①DLがFHと同じ値で表示されていたため、正しいDL値を整数で表示するように修正しました。
- ②測点名、GH、FHの行間を少し詰めました。

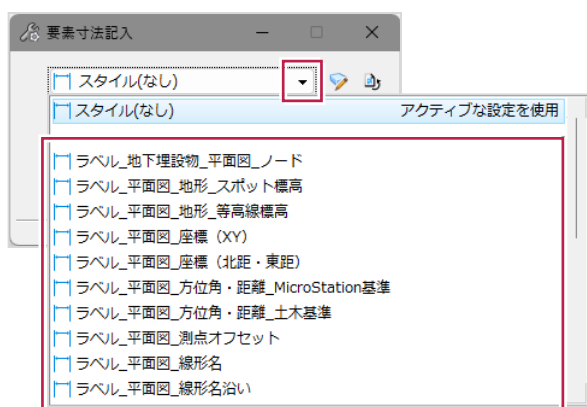
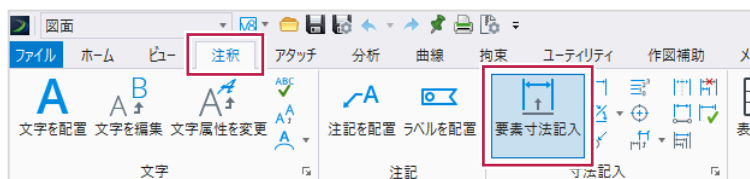
1-2 横断現況の抽出幅の調整

〔道路設計モデリング〕の〔ホーム〕タブー〔モデルの読み込み/書き込み〕グループー〔LandXML書き込み〕での横断現況の抽出幅について、これまでは左右それぞれ最大200mまで取得していましたが、左右それぞれ計画の最大値+15mの幅まで取得するように変更しました。



1-3 寸法スタイルの日本語化

〔図面〕の〔注釈〕タブー〔寸法記入〕グループー〔要素寸法記入〕の英語で表示されていた寸法スタイルを、日本語に変更しました。

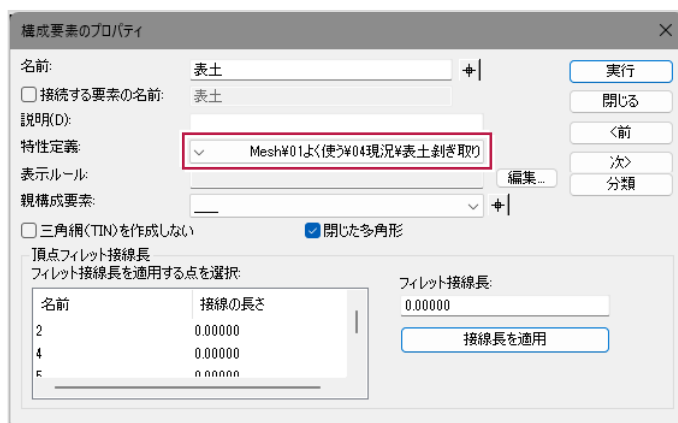


1-4 サーフェステンプレートの追加・修正

標準断面ライブラリのサーフェステンプレートにある「06芝・表土」の表土の特性定義が「Mesh - 02全て - 土工 - 表土」になっており、土量算出用の特性定義になっていませんでした。

土量算出時に表土剥ぎ取りとして集計できるよう、特性定義を「Mesh - 01よく使う - 04現況 - 表土剥ぎ取り」に変更しました。

また、表土のみを表すサーフェステンプレート「07表土」を新規に追加しました。

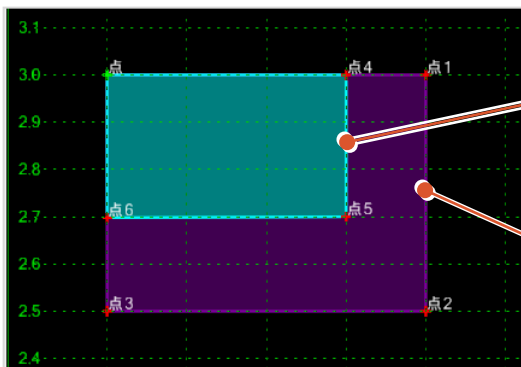
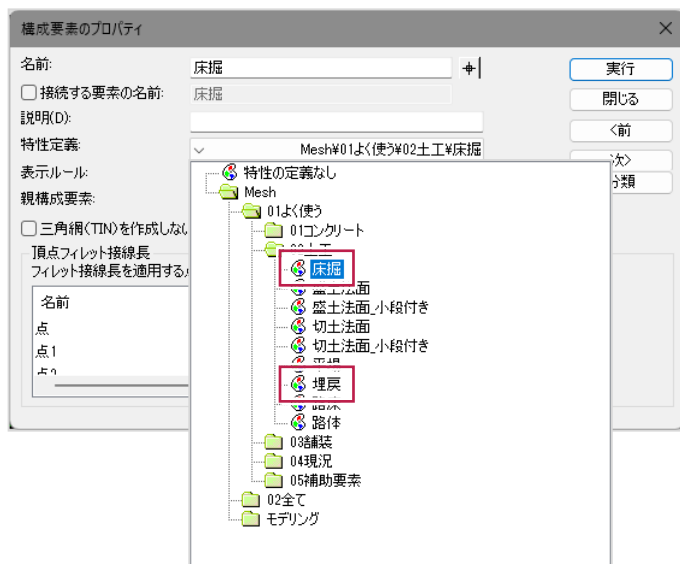


1-5 特性定義【床掘】【埋戻】の材質とレイヤ色の変更

これまで、特性定義【Mesh－01よく使う－02土工－床掘】と【Mesh－01よく使う－02土工－埋戻】に割り当てられている材質が【コンクリート】になっていました。また、レイヤの線色もグレーになっていました。

材質エディタに材質【床掘】を追加し、紫色の透過色に設定しました。材質【構造物埋戻し材】は水色の透過色に設定しました。

また、要素テンプレート内で、特性定義【埋戻】に紐づく要素テンプレート【埋戻】の材質を【構造物埋め戻し材】に変更しました。特性定義【床掘】に紐づく要素テンプレート【床掘】の材質は【床掘】に変更しました。



特性定義【埋戻】は、
水色の透過色になります。

特性定義【床掘】は、
紫色の透過色になります。